

ターンハウス周辺

距離： 5 マイル (8 km)

所要時間： 2～3 時間

地図： OS エクスプローラー OL7

概要：車椅子の方には、散策コースに急な坂がありますので、安全のため体力のある同伴者が必要になりますが、障害者の方が散策されるのに適し、配慮の行き届いたゆるやかな遊歩道になっています。この快適な散策コースは、お子様にもお楽しみいただける環境になっており、道しるべが各地に立てられています。ご来訪の時期として、早春の頃をお勧めします。

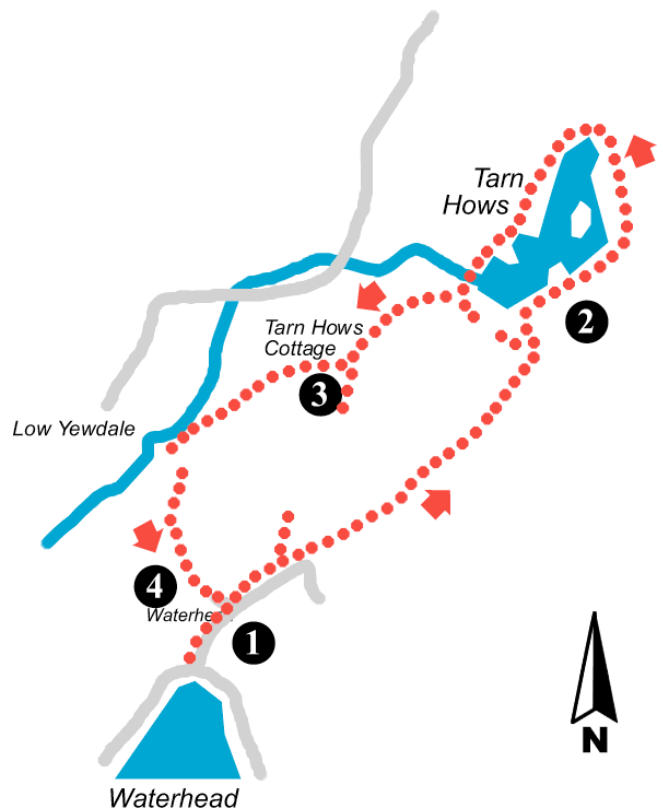
散策コース:

スタート地点 - ウォーターヘッド(Waterhead)の駐車場から、コニストン・ウォーター(Coniston Water)先端の周りを左に曲がり、B5385(車道名)に出ます。この車道を渡り、右に曲がった後、ゲートを通り、車道に沿って伸びる塀で囲まれた遊歩道を進んでください。この道は、ブーン・クラグ農場(Boon Crag Farm)への曲がり角付近で、ブーン・クラグ・コテージ(Boon Crag Cottage) (1)の前にてB5385と再びつながります。ブーン・クラグ・コテージ／農場は、かつて広大なモンク・コニストン・エステート(Monk Coniston Estate)の一部でしたが、現在はナショナル・トラスト(National Trust)により所有されています。当エステートは、元はリーズ(Leeds)の下院議員で、ジェームス・ガース・マーシャル(James Garth Marshall)の所有になっていました。マーシャルは、周辺地域に見られる変成岩の研究者でもあり、現代の地質学に大いに貢献しました。

ブーン・クラグ・コテージと農場の曲がり角を過ぎると、次のコテージにたどり着きます。ゲートを通して左に曲がり、野原に出た後、B5385に沿って、ターン・ハウ(Tarn Hows - 人造湖)に続く脇道に着くまで、歩き続けてください。B5385を渡り、乗馬専用道(ターン・ハウへ

の標識が立っています)に入り、ゆるやかに上りとなり、気持ちのいい松の並木を抜けるこの道を進んでください。次に、道が平らになる地点まで、前後に続く小さな池を過ぎ、壁の隙間を通った後、小川を渡ってください。

道の分岐点に着くまで、途中の枝分かれする通路を通り過ぎて歩き続けてください。さらに右に曲がり、壁の横に伸びる、徐々に幅が狭まる道を上ってください。その後まもなく左に曲がり、再び幅が広まった道を進み、その向こう側に障害者用駐車場がある車道に行き着くまで、壁に沿って進みます。この後、ターン・ハウ(2)を完全に一周する見事な遊歩道に出ることができます。この魅力溢れる散策コースでは、素晴らしい眺望、そしてオールド・マン・オブ・コニストン(Old Man of Coniston)、ウェザラム(Wetherlam)、ラングデール・パイクス(Langdale Pikes)など有名な山々の姿を垣間見ることができ、晴れた日には、ヘルヴェリン(Helvellyn)の眺めをご堪能いただけます。





ターン・ハウへの散策を短時間で済ませたい方は、トム・ギル経由でグレン・メアリー・ブリッジ(Glen Mary Bridge)から、美しいオークの森を抜けて遊歩道を上った後、木陰が心地よい、崖や岩に囲まれた滝をご覧いただくコースを選べます。コニストン・ウォーター湖畔のブラントウッド(Brantwood)に居住していたジョン・ラスキンは、トム・ギルには、より美しい名前がふさわしいと、「グレン・メアリー」という名称を与えました。以上のような経緯から、峡谷のふもとにある橋は、グレン・メアリー・ブリッジと名付けられました。

ターン・ハウを完全に一周すると、その湖水が流出している地点にもどります。ゲートを抜けて上り道を行くと、車道に出ます。右方向にカーブする車道を進み、駐車場を過ぎたら、右手にある標識が立つ歩道に着くまで、約半マイル歩いてください。周囲に壁や成熟したオークの森があるその歩道を歩いていくと、ターン・ハウ・コテージ(Tarn Hows Cottage)(3)に着きます。

次に、ロー・ユーデイル(Low Yewdale)とコニストン(Coniston)への方角を示す標識が立つ道に入り、二つのゲートを抜け、右に曲がった後、広い下り道をユーデイル・ベック(Yewdale Beck - 小川)に向けて歩きます。さらに左に曲がり、小川のほとりを歩いた後、踏み越し段を越え、ゲートと橋に向かって進んでください。小川を渡らないこと。

ゲートを通った後、左に曲がり、小川に沿って壁と塀の間にある上り道を進み、その後ブーン・クラグ農場(4)に向かって徐々に下降します。立ち並ぶ農舎の間を歩き続けると、その道はブーン・クラグ・コテージの前を走る主要車道に再びつながります。コテージ付近にて右に曲がり、スタート地点の駐車場に向かって、もと来た道に戻ります。

協力：ナショナル・トラスト (National Trust)

英国ではじめられた民間組織による美しい自然や歴史的建造物を保護する活動のこと。市民の寄付、寄贈によって保護したい自然や建物を取得、保存、管理、公開していく。日本でも1960年代にはじまり、全国で活動が展開されている。ナショナル・トラストは、19世紀末に3人の市民によってスタートした。当時のイギリスは産業革命の影響によって自然破壊が急速に進み、歴史的建造物の多くが失われつつあった。そこで、美しい自然や歴史的建造物とその環境を末永く守り続けていくために、市民からの寄付金や寄贈、遺贈などによって土地や建造物を取得し、これを保全、維持、



管理し、一般に公開していく組織をつくろうと、1985年に非営利法人「ザ・ナショナル・トラスト」が設立された。1902年にはピーターラビ

ットの生みの親ベアトリクス・ポッターが、湖水地方の美しい風景を守るために土地を買い取り、ザ・ナショナル・トラストにその維持管理を委ねた。同協会はその後も存亡の危機にあった多くのカントリーハウスの保存活動を展開するなど、世界のナショナル・トラスト活動の先駆的役割を果たした。

www.nationaltrust.org.uk